

# 第4期芸術文化振興ビジョンの概要【案】

本県の芸術文化振興のための取組の展開方向を示す「芸術文化振興ビジョン」（第1期:H16～第2期:H27～第3期:R3～）について、取り巻く環境の変化や現行ビジョンの検証等を踏まえ、今般、**新たな5か年計画**を策定する。【11/27第2回ビジョン検討委員会で素案を議論し、案として1月にパブコメ予定】

<b>基本目標</b>	『芸術文化立県ひょうご』 ～誰もが芸術文化に親しみ、芸術文化の力で躍動する兵庫の実現へ～	<b>計画期間</b>	令和8年～令和12年（5年間）
<b>基本方針</b>	1 芸術文化を創造・発信する 3 文化力を高め、地域づくりに活かす	2 芸術文化の“場”を育て拡げる 4 みんなで支え、総合的に取り組む	第1期ビジョン 平成16～26年 第2期ビジョン 平成27～令和2年 第3期ビジョン 令和3～7年

## 時代潮流、検証等

### 【現行計画の検証と課題】

- △若者世代の活動機会の確保
- △神戸・阪神間とその他との格差
- △豊富な地域資源の更なる活用
- △更なる寄附の促進 等

### 【取り巻く環境の変化】

- △人口減少・少子高齢、担い手不足
- △コロナ後の行動変容と芸術文化の力の再評価
- △物価高・円安、米国関税問題
- △アフターワン博と神戸空港の国際化
- △県民会館の閉鎖と県庁舎の再整備 等

## 重点取組

重点1

### 若者世代の活動支援と担い手の育成

（若年層の活動支援、子ども・若者の体験機会の充実、積極的な動画活用 等）

重点2

### 誰もがどこでも芸術文化に親しめる環境構築

（地域格差是正（アウトリーチ等）、障害者芸術の充実、外国人への支援 等）

重点3

### 芸術文化資源を活かした地域活力の喚起

（ビュッカーライトの醸成、日本遺産等の活用、観光・地域活性化への活用 等）

重点4

### 持続可能な芸術文化環境の構築

（市町との連携強化、新たな寄附手法導入等）

## 成果指標

- ①芸術文化に接する機会がある  
③この1年で芸術文化を鑑賞した

50% (令和6実績 39.2%)  
90% ( " 88.1%)

- ②自慢したい地域の宝がある  
④この1年で芸術文化を自ら行った

65% ( " 40.9%)  
55% ( " 39.9%)

（「ゆたかさ指標」(①、②) 「県民モニター」(③、④) より）

# 重点取組の具体的展開のイメージ

重点1(若者、育成)

重点2(共生社会)

重点3(地域活力)

重点4(持続可能)

重点1

若者世代の活動支援と担い手育成



(高校生文化部フェス)  
アートで躍動Z世代文化部応援プロジェクト



(合同練習会)

重点2

誰もがどこでも芸術文化に親しめる環境構築



ひょうごプレミアム  
芸術デー



障害者芸術活動の充実  
(スタートアップ支援・  
アドバイザー設置等)



PAC公演などの地域のホールへの配信



ショート動画によるPR



子ども体験機会の充実（伝統文化、音楽等）

重点3

芸術文化資源を活かした地域活力の喚起



兵庫・香川連携によるコンテンツの造成



県内日本遺産のネットワーク化



重点4

持続可能な芸術文化環境の構築



(最古の登窯復興と丹波焼の里活性化推進プロジェクト)  
ふるさとひょうご寄附金の獲得推進



(KOBELCO大ホール)  
ふるさとひょうご寄附金、ネーミングライツの獲得推進

# 第4期ビジョンでの主な取組項目

重点1(若者、育成)

重点2(共生社会)

重点3(地域活力)

重点4(持続可能)

## 基本方向

### 従来からの取組で継続するもの（例）

- アーティストサロンによる芸術家への情報提供・発表・交流機会
- 芸術系学校による育成と卒業生との連携強化
- 新進美術家の登竜門である「県展」の開催
- 有利な財源を活用した機能強化、長寿命化
- HP、広報誌等による地域へ向けた情報発信
- ピッコロ劇団やPACによる各地域のホールでの公演 等

### 次期ビジョンからの主なもの（例）

- 高校生部活動等の練習や発表の場の充実（文化部応援P）
- 国際的に活躍する若手の育成（海外武者修行応援P）
- 若手職員・大学生等のアイデアの積極的な活用
- 時代の変化を踏まえた施設の活性化策の検討と共有
- 新庁舎等整備プロジェクト基本構想を踏まえたギャラリー等整備の検討
- Instagram、YouTube等でのショート動画の積極的な活用
- PACの公演の各地域のホール等への配信 等

重点1

重点1

重点1

重点4

重点4

重点1

重点2

重点2

重点2

重点1

重点1

重点1

## 1 芸術文化を創造・発信する

- PACやピッコロ劇団によるアトリエ活動
- 「ふれあい文化の祭典」の開催による交流促進
- 兵庫県障害者芸術・文化祭の開催
- 外国人を対象にした演劇の手法による日本語ワークショップの開催
- いなみの学園、阪神ニアカレッジなど地域高齢者大学の運営
- 子ども伝統文化わくわく体験教室の実施
- わくわくオケストラ教室の実施 等

- 誰もが芸術文化に親しめる機会を提供するプロジェクト実施
- ユニークな映画鑑賞会、ミュージックフェスの開催
- スタートアップ支援やアーバイバーセンター設置など障害者芸術活動支援
- 県立施設における先導的な親子向けイベントの開催
- 伝統文化以外も含め芸術に触れあえる体験機会の充実 等

重点2

重点2

重点2

重点1

重点1

## 3 文化力を高め、地域づくりに活かす

- 文化財保存活用大綱に基づく計画的な文化財の保存・活用
- 歴史文化遺産の活用を図るハーティマネジメント等の人材育成
- 日本遺産の認定と活用
- 兵庫津、松帆銅鐸などの歴史遺産を活用した地域振興
- ミュージアムカード、阪神間モダニズム等による地域の活性化事業 等

- 無形民俗文化財の県登録制度の活用促進
- 県内日本遺産のネットワークによる情報共有・発信力強化
- 地域の文化や経済の保全・発展を生み出すサステナブルリージムの推進
- 兵庫・香川連携による観光コンテンツ・ツアーアート・伝統工芸)造成
- アニメーション、音楽フェスなどポップカルチャーを活用した地域振興 等

重点3

重点3

重点3

重点3

重点3

## 4 みんなで支え、総合的に取り組む

- 芸術文化や歴史について学ぶことのできる講座の開催
- 社会教育施設等で活躍する文化ボランティアの資質向上
- 県民や関係者等への「芸術文化振興ビジョン」の周知・啓発
- 文化庁等の国省庁や地域創造等の国関係機関の支援活用 等

- ネットワーキングの拡充や新たな寄附手法の導入
- 県と市町による定期的な情報交換の場の設置
- リーディングケース(芸文センター、県立美術館等)の事例共有 等

重点4

重点4

重点4